

# 舟橋村公民館

## ◆事業の目的

野外活動体験を通して、自然に親しむとともに、友達や親子、地域ボランティアの方との交流を図る。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
1月21日（土）	冬の自然に親しもう	国立立山青少年自然の家	21名

## ◆事業の様子

### ☆ 冬の自然に親しもう

時折雨が降る天候だったが、参加した小学生保護者共に、富山県家庭教育アドバイザーである講師の指導で雪上の活動に参加し、冬の自然を満喫した。

#### ・シートそり、チューブそり

シートそりでは、トントンの森の急な斜面を滑った。初めのうちには雪がしまっていないため、斜面の途中で何度も止まることがあった。繰り返し滑るうちに次第に雪もしまり、かなりのスピードが出て、途中でジャンプしてしまう子どももいた。最後には誰が一番遠くまで滑られるか競い合った。

チューブそりでは、いろいろな体勢でチューブに乗ったり、友達に押しってもらったりし、どうすれば速くそして遠くまで滑られるか試行錯誤していた。また、1つのチューブに2人で乗ったり、2つのチューブで連なって滑ったりして楽しむ姿も見られた。

どちらの活動も滑るためには、何度も斜面を登らなければならないが、子どもたちは「疲れた。けど、楽しい」と笑顔で何度も取り組んでいた。

#### ・雪上ゲーム<大根引き、スノーツリー、雪入れ、宝探し>

参加者（指導協力者を含む）を2チーム分け、様々なゲームで競い合った。どのゲームもチームメイトと協力しなければできない活動ばかりで、ゲームを重ねるごとにチームワークが良くなっていった。ゲーム中は絶えず笑い声が響き渡った。



シートそり



チューブそり



大根引き

## ◆事業の成果と課題

冬の野外活動を通して、子どもたちは寒く、冷たいという自然の厳しさ以上に遊ぶ楽しさを感じてくれたと思う。さらに、参加した保護者が童心に返り一緒になって楽しんだことが「楽しむ」雰囲気作りにつながったと思われる。また、友達や保護者、地域の指導協力者と交流する中で、協調することの大切さを学ぶよい機会であった。今後の課題としては、参加者にとって魅力的な活動の企画立案が挙げられる。